

Adobe Express :

企業全体にクリエイティビティを浸透させるには

この調査レポートについて

このレポートは、Pfeiffer Consultingがアドビの委託を受け実施した市場特化型の調査プロジェクトの結果をまとめたものです。調査の主な目的は、**企業コンテンツ制作の文脈において、プロ向けの制作アプリケーションだけで構築されたワークフローと比べて、Adobe Expressの使用がどれだけ効率性と生産性を高められるかを文書化**することでした。

ベンチマークは、Pfeiffer Consultingが10年以上かけて精緻化してきた「Productivity Benchmarking（生産性ベンチマーク手法）」を用いて実施され、経験豊富なオペレーターが特定の実作業を実行するのにかかる時間を測定しています。詳細については、この資料の最終ページにある「調査方法」セクションをご参照ください。

Adobe Expressについて

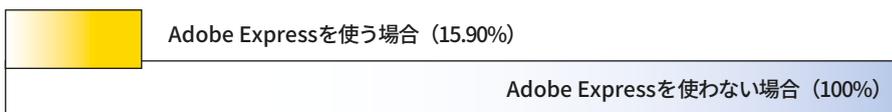
Adobe Expressは、さまざまなメディアタイプのコンテンツを簡単に制作・配信できるオンラインアプリケーションです。Photoshopなどのプロフェッショナルレベルのアプリケーションの経験がないユーザーに最適な製品ですが、熟練したプロフェッショナルにも生産性を高める方法を提供します。

最近のAdobe Expressの機能追加により、企業の制作環境における生産性は大幅に向上しています。さらに、テンプレートロックなどの機能により、**コンテンツの翻案作業において、企業内で別々の部門に属するクリエイティブプロフェッショナルと非デザイナーがコラボレーションすることが可能**になり、制作されたコンテンツが常にブランドに沿ったものであることが担保されます。この調査では、企業におけるこれら機能の潜在的な生産性への影響について検証します。

エグゼクティブサマリー

- このレポートでは、企業のクリエイティブワークフローへの**Adobe Expressの統合による生産性への影響**に焦点を当てた調査プロジェクトの分析結果を、データとともにご紹介します
- Adobe Expressは、広範囲をカバーする使いやすいクリエイティブツール群で構成されており、非デザイナーだけでなく、**クリエイティブプロフェッショナルにとっても制作作業の生産性を大幅に向上させることができます**。
- クリエイティブワークフローにAdobe Expressを統合すれば、企業全体に**クリエイティビティを浸透**させることができ、クリエイティブプロフェッショナルと非デザイナーが効率的な方法でコラボレーションや共同制作を行えるようになります。
- テンプレートロック、スタイルガイド、ブランディング要素の活用により、**Adobe Expressで制作されたコンテンツは常にブランドに沿ったものになります**。
- この調査のために実施された20の異なるワークフローシナリオのベンチマークでは、**Adobe Expressはプロ向けのアプリケーションだけに頼るよりも平均で6倍以上高速**でした。

主なベンチマーク結果：20のワークフローベンチマークの平均



実際のワークフローベンチマーク20種類の平均に基づくチャート。

参考値：他のワークフローで作業した場合の平均時間。**短いほど良い。**

企業におけるクリエイティブワークフローの課題とボトルネック

複雑な職務権限ネットワーク

企業におけるクリエイティブ性の重要性は広く認識されていますが、効率的なクリエイティブワークフローを実装することの複雑さは低く見積もられがちです。複雑さの理由は、**クリエイティブ性にはいくつかのレベルがあり、さまざまな形態をとるから**です。集団的なクリエイティブ性が期待通りの結果を生み出すためには、**異なる形態のクリエイティブ性が意味のある方法で相互連携**したうえで、個々のチームメンバーが他者に悪影響を与えることなく、自分のクリエイティブ性を生産的に発揮できるようにすることが不可欠です。

具体的に、典型的な企業のフレームワークにおいて異なるレベルのクリエイティブ性がどう連携する必要があるかを見てみましょう。まず上流では、製品のビジョン、戦略的目標、ブランドアイデンティティ、コミュニケーション戦略が決定されます。決定事項を伝えられたクリエイティブチームは、それらに具体的な形を与えなければなりません。その際、企業が制作するすべてのビジュアル要素を常にブランドイメージに沿ったものにするために不可欠な、適切なブランドアイデンティティのフレームワークを、スタイルガイドなどのツールを用いて確立するのも彼らの役割です。

主なポイント

- 企業におけるクリエイティブ性には複数のレベルがあり、これら**異なるクリエイティブ性間の相互連携は不可欠**です。
- 企業のクリエイティブチームは、制作された**すべてのコンテンツがブランドに沿ったものであることを担保**するために、**スタイルとブランドのガイドラインを定義**する必要があります。
- **Adobe Express**を使用すれば、ローカル要件に合わせてコンテンツを翻案する場合など、非デザイナーがクリエイティブ作業に参加するような場合でも**ブランディングの一貫性を担保**できます。

企業のクリエイティブワークフローの複雑さ

	戦略マネジメント	マーケティングとコミュニケーション	クリエイティブチーム	ユーザー
アクション	<ul style="list-style-type: none"> ● ビジネス戦略の定義 ● マーケティングとコミュニケーションの目標とターゲットの定義 ● マーケティングチームと連携してブランド戦略を認可 	<ul style="list-style-type: none"> ● ターゲットオーディエンスの定義 ● ブランド戦略の定義 ● キーメッセージ戦略の定義 ● クリエイティブチームと連携して成果物を定義 	<ul style="list-style-type: none"> ● スタイルガイドの作成 ● ヒーローコンテンツの作成 ● アセットの作成と選定 ● 成果物の制作 ● 成果物を配信チャネルの仕様に合わせ最適化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 既存の成果物をスタイルガイドや使用説明書に従って使用 ● 成果物をローカル要件に適合させるため、クリエイティブチームに必要な変更を依頼
コラボレーション	戦略マネジメントとマーケティング部門は、戦略的要請、マーケティング戦略、クリエイティブ部門のキャンペーンを踏まえて コミュニケーション戦略を認可 する必要があります。		マーケティング部門とクリエイティブチームは、ブランドに沿っており、戦略的要請をサポートし、スケジュール通りに納品でき、容易に適合できる クリエイティブ戦略を練り上げる 必要があります。	クリエイティブチームは、 企業内のさまざまなチームによって作成されるあらゆる制作物が常にブランドに沿うものであることを担保 するため、スタイルガイド、使用説明書、関連資料を作成する必要があります。

ただし、コンテンツのスタイル指針を下流で適用する場合、例えば「ヒーローコンテンツ」を異なるユースケース、地域、言語などのローカル要件に適合させるために翻案したい場合、事態はより複雑になります。

適切なツールセットの重要性

通常、企業スタイルガイドの指示を適切に適用できるツールを備えているのはPhotoshop、Illustrator、InDesignのような専門的なアプリケーションだけです。そのため、オリジナルデザインを翻案する際にはクリエイティブチームの介入が必要になります。それにより、クリエイティブチームの作業負荷が大幅に増加し、翻案されたコンテンツの制作と納品がボトルネックになります。(クリエイティブコラボレーションについては8ページを参照)。

最新版のAdobe Expressは、この状況を大きく変えます。この製品は当初、膨大なテンプレートライブラリを使用してプロフェッショナルな品質の成果物を迅速に作成したいというニーズを持つ非デザイナーをターゲットとしていましたが、現在では企業環境での導入を可能にする機能も提供しており、クリエイティブワークフロー全体の生産性を大幅に向上させることができます。

具体的には、Adobe Expressは、企業内の非デザイナーが使うテンプレートを、クリエイティブチームの手で作成し、それを可能にするだけでなく、企業スタイルガイドの実用的かつ効果的な適用手段も提供します。つまり、非デザイナーは、クリエイティブチームが提供したテンプレートを使って、例えば特定のテキストを変更したり、イラストを置き換えたりすることができるのです。これは、実質的に「企業全体にクリエイティビティを浸透」させられることを意味します。つまり、誰もが自分の専門レベルでクリエイティビティを発揮できるようになり、同時に、常にブランドに沿った販促物を作成できるようになります。これにより、全体的な生産性を大幅に向上させられる可能性が、私たちのベンチマークで示されています。

Adobe Firefly

アドビは長年にわたり、PhotoshopなどのアプリケーションにAIベースの機能を実装してきました。Adobe Expressに完全に統合されたAdobe Fireflyは、生成AIを次のステージに押し上げます。ユーザーは、テキストプロンプトから完全な画像を作成したり、「生成塗りつぶし」を使用して画像に要素を追加したり削除したり、希望するエフェクトの説明を使用して非常に高度なテキスト効果を作成したりできます。Adobe Fireflyはデザインプロセスでも役立ち、テキストプロンプトから完全なテンプレートを作成することも可能です。生成AIがクリエイティブなプロセスを大きく変えることは間違いないでしょう。

Adobe Expressの主な利点

	Adobe Expressを使わない場合	Adobe Expressを使う場合
使いやすさ	<ul style="list-style-type: none">プロ向けのクリエイティブアプリは強力ですが、その能力をフルに発揮するにはツールの習熟とかなりの経験が必要とするため、使いこなせるのは訓練されたプロフェッショナルに限られます。	<ul style="list-style-type: none">Adobe Expressは習得が簡単で、デザインタスクに関する難しいトレーニングや経験を積まなくてもプロフェッショナルな成果物を生み出すことができます。
効率性	<ul style="list-style-type: none">プロ向けのクリエイティブアプリは、最も完全なツールセットを提供することに重点を置いており、頻繁に発生する単純作業において最も効率的とは限りません。	<ul style="list-style-type: none">Adobe Expressは、優れた効率性と生産性をもたらすために最適化されており、プロ向けアプリを補完して生産性を高めることができます。(ベンチマークを参照)
コラボレーション	<ul style="list-style-type: none">ほとんどのプロ向けのクリエイティブアプリは、1人のユーザーのために最も完全な機能セットを提供するように考案されていますが、チームワークフローでの効率的なコラボレーションには適していません。	<ul style="list-style-type: none">Adobe Expressはコラボレーションのために最適化されており、ユーザーは同じプロジェクトで同時に作業することができます。つまり、クリエイティブプロフェッショナルは、他のチームメンバーと効率的にコラボレーションできます。
委任	<ul style="list-style-type: none">プロ向けのクリエイティブアプリケーションだけで作業する場合、クリエイティブなタスクはこれらのプログラムを習得済みのユーザーにしか委任できず、クリエイティブチームから外部への委任は制限されます。	<ul style="list-style-type: none">Adobe Expressを使えば、経験豊富なクリエイティブプロフェッショナルでないチームメンバーにもクリエイティブ作業を任せることができ、テンプレートロックなどの機能により、常にブランドに沿ったデザインを保つことができます。

アドビは、Adobe ExpressをCreative Cloudの代わりとしてではなく、プロ向けアプリケーションの拡張機能として構想しています。この拡張機能によって、クリエイティブプロフェッショナルは

より速く仕事をこなせるだけでなく、より効率的なコラボレーションが可能になり、副次的なクリエイティブ作業を非デザイナーに任せられます。

Adobe Expressがもたらす生産性の向上

すべての人に生産性を

Photoshop、Illustrator、Premiere Proなどの主要なCreative Cloudアプリケーションを使いこなしているクリエイティブプロフェッショナルが、Adobe Expressは自分向けではないと考えるのはごく自然なことです。なぜなら、そうしたプロ向けアプリケーションが備える高度な機能の多くが欠けているからです。

しかし、Adobe Expressを詳しく見てみると（専用のベンチマークも多数あります）、特にプロ向けアプリケーションで作成したコンテンツの翻案や配布を伴うプロジェクトフェーズにおいて、**Adobe Expressはプロフェッショナルなクリエイティブワークフローの有効範囲を拡げ、生産性を高めてくれるのです。**

この調査では、ビデオ編集からSNSキャンペーンへの適応と配信まで、20の異なるワークフローシナリオを分析しました。これらのベンチマークは、**Adobe ExpressをCreative Cloudアプリケーションと統合することで、パワーユーザーであっても非常に大きな生産性の向上が得られることが示されています。**（次ページのグラフを参照）

主なポイント

- **Adobe Expressは、Creative Cloudアプリケーションを補完するものであり、これらのアプリケーションと深く統合されています。**
- **Adobe Expressは、Creative Cloudアプリケーションでの作業に慣れているクリエイティブプロフェッショナルにも大幅な生産性向上をもたらします。**
- 私たちのベンチマークでは、クリエイティブワークフローの多くの一般的な操作において、非常に大きな生産性の向上が見られました。

クリエイティブワークフローを拡張するAdobe Express

	新規作成（ヒーローコンテンツ）	翻案	配布
Adobe Expressを使わない場合	<ul style="list-style-type: none">● 必要なアプリケーション： Creative Cloudの主要アプリケーション（Photoshop、Illustrator、Premiere Pro、After Effectsなど）。	<ul style="list-style-type: none">● ヒーローコンテンツをさまざまなメディアタイプや使用例に適應させるには通常、クリエイティブチームが必要です。	<ul style="list-style-type: none">● さまざまなメディアチャネルに出力するコンテンツを準備するには通常、クリエイティブチームが必要です。
	<ul style="list-style-type: none">● 必要な専門知識： Creative Cloudの主要アプリケーションに関する確かな実務上の知識と経験。		
Adobe Expressを使う場合	<ul style="list-style-type: none">● 迅速な納品が最優先なとき、Adobe Expressはクリエイティブプロフェッショナルの生産性を向上させます。● 必要な専門知識：確かなデザイン経験があれば、アプリケーションの網羅的なトレーニングは不要です。	<ul style="list-style-type: none">● 生産性： Adobe Expressは、ヒーローコンテンツを翻案する際の生産性を大幅に向上させます。● 委任： テンプレートロックを使用すれば、ブランディングの一貫性を担保しながら、翻案作業を委任することができます。	<ul style="list-style-type: none">● Adobe Expressを使えば、多言語への自動翻訳を含め、さまざまなメディアチャネルへの配信を自動化できます。● プロ向けのアプリケーションの専門知識は必要ありません。

クリエイティブプロフェッショナルが、そのクリエイティビティとデザイン経験をフルに表現するために、最もパワフルなツールを必要としていることは間違いありません。

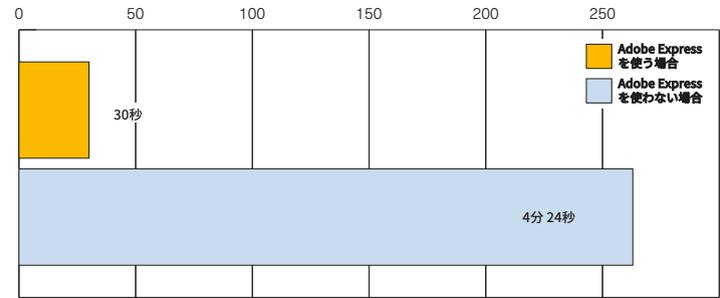
しかし、プロジェクトの行程においては、プロ向けのツールのような高度な機能を必要とせず、**Adobe Expressを使うことで効率的に達成できる局面が数多くあります。**

Adobe Expressがもたらすスピードの向上：主なベンチマーク結果

動画の結合：このベンチマークでは、2つのビデオシーケンスを結合、それぞれを5秒に短縮し、タイトルスライドを追加するのに必要な時間を計測しました。こうした作業はPremiere Proを使えば簡単ですが、いくつかのステップを踏む必要があります。**Premiere Proでは4分以上かかっていた作業が、Adobe Expressではわずか30秒で完了しました。**

Adobe Expressベンチマーク：動画の結合
3つの個別ベンチマークの平均。単位：秒
短いほど良い。

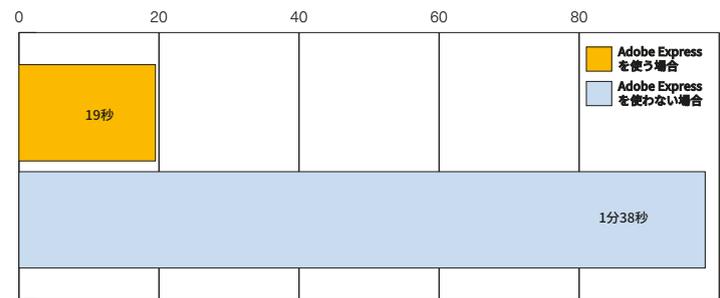
2つのビデオクリップを結合し、タイトルフレームを追加



動画のクロップ：ビデオを16:9のアスペクト比にクロップ（切り抜き）し、尺を短くするのに必要な時間を計測しました。Premiere Proを使用した場合、これらの作業には2分近くの大規模な時間を要しました。**Adobe Expressでは、わずか19秒で完了しました。**

Adobe Expressベンチマーク：動画のクロップ
3つの個別ベンチマークの平均。単位：秒
短いほど良い。

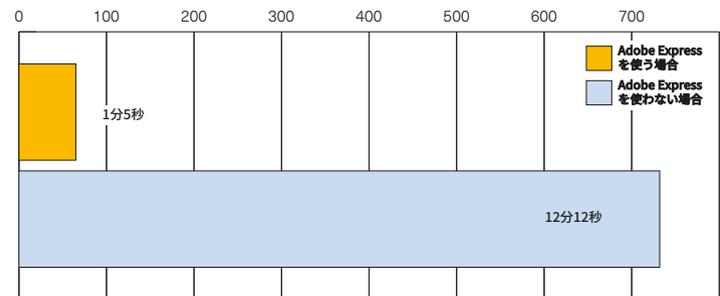
ビデオクリップをクロップして短尺に編集



SNS投稿のアニメーション化：Adobe Expressを使えば、SNSの投稿用に簡単なアニメーションを作成するのは非常に簡単です。**タイトルにイーズイン・イーズアウトのアニメーションを付けるのは1分強しかかかりませんでした。**同様のエフェクトをプロ向けのアプリケーションで作成するにはもっと時間がかかり、After EffectsやPremiere Proなどを使う必要があります。私たちはPremiere Proを使いましたが、ツール経験者でも12分以上かかっています。

Adobe Expressベンチマーク：SNS投稿のアニメーション化
3つの個別ベンチマークの平均。単位：秒
短いほど良い。

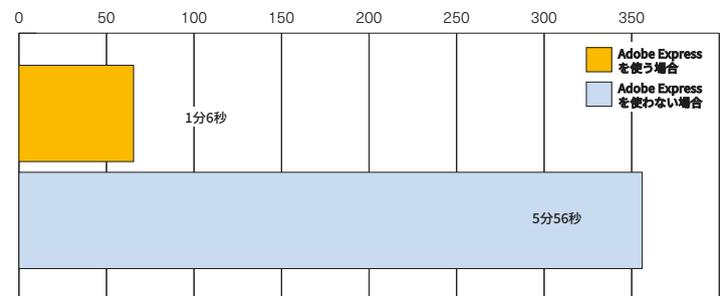
SNS投稿用のシンプルなアニメーションを作成



複数メディアキャンペーンへの翻案：このベンチマークでは、テンプレートに基づいたシンプルなチラシを作成し、FacebookやInstagramなど6つの異なる出力形式に適応させるのに必要な時間を測定しました。**Adobe ExpressはAIを使ってこのプロセスを自動化し、すべての作業を1分強で完了させることができます。**同じ作業をPhotoshopで行うと6分近くかかりました。

Adobe Expressベンチマーク：複数メディアキャンペーンへの翻案
3つの個別ベンチマークの平均。単位：秒
短いほど良い。

7つの異なるSNSにフォーマットを適合させて投稿



企業全体にクリエイティビティを浸透させるには

クリエイティブワークフローに潜むボトルネック

一般的な企業のクリエイティブワークフローでは、ごく平凡なクリエイティブタスク以外はクリエイティブディレクター、デザイナー、画像処理スペシャリスト、webデザイナーといった、各専門分野で十分なトレーニングと経験を積んだクリエイティブチームのメンバーが担当します。タスクを委任する場合も、相手は通常、同レベルのスキルを持つ他のクリエイターに限られます。比較的単純なタスクならインターンやチームの若手メンバーに任せられるとしてもです。これは、もっと本質的な仕事ができるはずのプロフェッショナルが反復的なタスクや時間のかかるタスクの多くを現状でも行っていることを意味しています。

具体的な例を見てみましょう。あるイベントのチラシをクリエイティブチームがデザインし、経営幹部とマーケティング部門がそれを認可しました。しかし、このチラシを別の都市にある支店用にパーソナライズしたり、地域市場に合わせたりする必要もあります。この種の変更にはデザインの経験は不要ですが、クリエイティブチームだけが持っているプロ向けのアプリケーションを使わなければ変更はできません。一方で、喜んで手伝いたくてもそうする立場にない非デザイナーが支店にいるかもしれません。

主なポイント

- クリエイティビティの浸透とは、多様なユーザーが、各自の専門知識レベルをそのままに、クリエイティブなプロジェクトでコラボレーションできるようになることです。
- Adobe Expressは、非デザイナーでも使えるツールセットを提供することで、企業全体へのクリエイティビティの浸透を実現します。
- Adobe Expressのテンプレートロックとスタイルガイドにより、非デザイナーが作成する販促物は常にブランドに沿ったものとなります。

企業全体にクリエイティビティを浸透させるAdobe Express

	Adobe Expressを使わない場合	Adobe Expressを使う場合
コラボレーション	<ul style="list-style-type: none">● テンプレートを現地の要件に合わせるなどのクリエイティブな作業には、プロ向けツールへのアクセスに加え、確かなデザイン経験や、企業固有のスタイルガイドやブランドガイドラインに関する知識が必要です。	<ul style="list-style-type: none">● Adobe Expressは、クリエイティブチームが非デザイナーとコラボレーションすることを可能にします。● 非デザイナーは、プロ向けツールへのアクセスなしでコンテンツの翻案に貢献することができます。
クリエイティブな協創	<ul style="list-style-type: none">● クリエイティブなプロセスにおけるコラボレーションは、プロ向けツールやアプリケーションにフルアクセスできるユーザー間でしか実現できません。	<ul style="list-style-type: none">● Adobe Expressを使えば、既存のヒーローコンテンツのローカル向けの翻案が完成するまでのクリエイティブなプロセスに、非デザイナーでも参加することができます。
ブランディングの一貫性	<ul style="list-style-type: none">● スタイルガイドや企業ブランディング戦略の成果物への実装作業はクリエイティブプロフェッショナルだけの職務で、ブランドガイドラインに関する知識だけでなく、確かなデザイン経験が求められます。	<ul style="list-style-type: none">● Adobe Expressは、スタイル、ブランディング要素、承認済みアセットの選択、といった機能を備えています。● これにより、非デザイナーが不用意にブランドから逸脱したコンテンツを作成できなくなります。
生産性	<ul style="list-style-type: none">● チラシやポスター、SNSコンテンツなど、既存のテンプレートにアレンジを加えるよう各地から要請があった場合、生産性の低下や制作期間の長期化を招きます。（8、9ページ参照）	<ul style="list-style-type: none">● Adobe Expressは、クリエイティブチームだけでなく、非デザイナーの生産性も大幅に向上させます。（5ページのベンチマーク参照）

クリエイティブティの浸透を実現するには

上述の問題は、ユーザー一人一人の能力に直接関係するものではなく、**高度なトレーニングなしでクリエイティブティの浸透を実現できる適切なツールが存在しない**というところにあります。つまり、プロ向けのアプリケーションと並行して、プロ向けツールと緊密に統合するように設計された、よりアクセスしやすいクリエイティブツールが必要なのです。**それさえあれば、非デザイナーであってもクリエイティブワークフローに貢献できるでしょう。**つまり、クリエイティブチームが作成したコンテンツをローカライズしたり、必要に応じてコピーを変更したりすることができるのです。

ただしこれは、企業によって制作されたすべてのコンテンツが常にブランドに沿うものであることを担保できるようなガードレールが整備されていなければ機能しません。

最新のAdobe Expressは、まさにこの、企業のクリエイティブワークフローに欠かせない、追加レベルのツールを搭載しています。テンプレート、スタイルガイドやブランドガイドについてはすでに述べました。同じく重要なのがコラボレーションです。Adobe Expressでは、**複数のユーザーが同じプロジェクト上でリアルタイムに共同作業を行うことができます。**これは、デザイナーが翻案のためにプロジェクトをそのまま他部門に渡すことができるだけでなく、デザイナーと非デザイナーがコメントやファイルのやり取りなしで共同作業ができることを意味します。これにより、例えばマルチメディアキャンペーン用のデザインのバリエーションを非デザイナーが自動生成し、必要に応じてデザイナーがリアルタイムで最終調整を行う、といったようなことが可能になるのです。

結論として、企業全体へのクリエイティブティの浸透は、適切な実装によって可能であるばかりでなく、生産性の大幅な向上とクリエイティブコンテンツの生産能力の加速をもたらすことは間違いありません。

ブランドに沿ったコンテンツの重要性

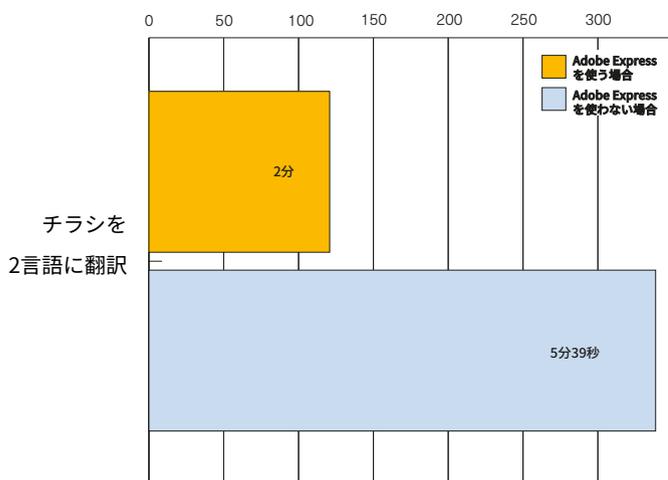
ブランディングの遵守は、マーケティングや企業コミュニケーションにおいて最も重要な側面のひとつです。コーポレートロゴ、コーポレートフォント、コーポレートカラーなどは比較的わかりやすい要素ですが、実際には細部にこそ悪魔が潜んでいます。何をもって「ブランドに沿った」となるかは、通常は企業スタイルガイドに定義されています。これは、特定のロゴを暗い背景で使用するか、白黒で使用するか、見出しやサイドバーにどのフォントをどのサイズで使用するかなど、さまざまな使用例を網羅した膨大な文書です。

Adobe Expressは、これらのガイドラインやブランディング要素を、非デザイナーでも非常に簡単にアクセスして活用できる方法で実装することを可能にします。これは、企業全体にクリエイティブティを浸透させ、制作されるすべてのコンテンツがブランドに沿ったものであることを担保するために不可欠なステップです。

Adobe Expressベンチマーク：チラシの翻訳（2言語）

3つの個別ベンチマークの平均。単位：秒

短いほど良い

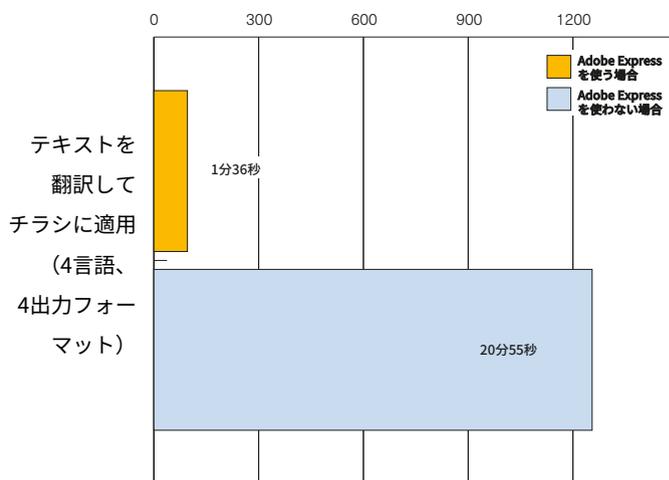


Adobe Expressの自動翻訳機能と、Google翻訳で翻訳したテキストをカット＆ペーストする方法を比較しました。左のグラフは、チラシを2つの言語に翻訳し、テキストの一部にローカルフォーマットを適用するのに必要な時間を示しています。

Adobe Expressベンチマーク：翻訳したコピーをチラシに適用

3つの個別ベンチマークの平均。単位：秒

短いほど良い



2番目のベンチマーク（右のグラフ）では、チラシを4つの異なる言語に自動翻訳し、各言語版を4つの異なるフォーマットに翻案するのにかった時間を測定しました。

Adobe Expressがクリエイティブチームとの コラボレーションに与える影響

現状におけるボトルネック

オフィス系ソフトにおけるコラボレーションは年を追うごとに大きく進歩していますが、クリエイティブなワークフローに関しての状況はやや複雑です。まず、オフィス系ソフトのようにデザイナーデータをそのまま共有することはできないため、デザイナーはデータからPDFファイルを作成し、電子メールで送信するか、共有サーバーのボリュームにコピーして共有する必要があります。

次に、デザインの翻案の依頼者は、デザインのPDFをダウンロードして確認し、変更指示をデザイナーに電子メールまたはチャットで伝える必要があります。複数のステークホルダーが関与している場合はさらに複雑で、デザイナーはこうした「相互伝達」を重ねながら全員の変更指示を反映しなければならず、さらに時間がかかることとなります。これを解決すると、私たちのベンチマークが示すように、単純なワークフローのシーケンスでさえ、生産性の大きな損失につながります。（下図参照）

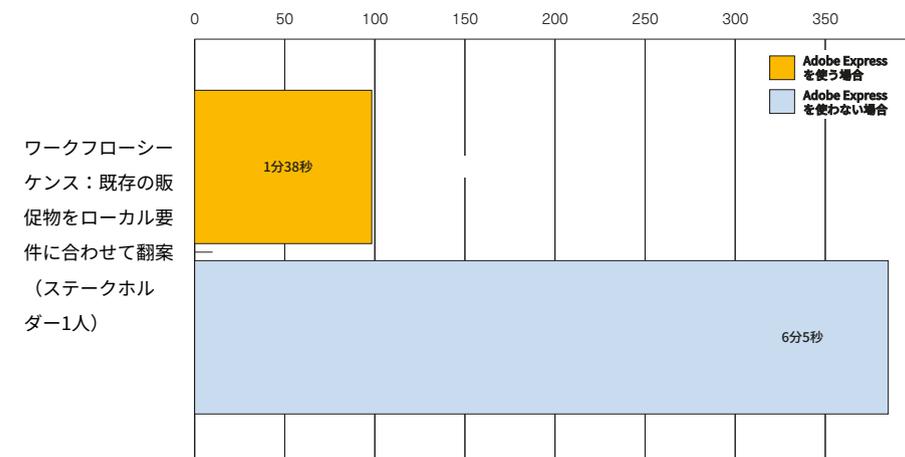
Adobe Expressがクリエイティブなコラボレーションに与える影響

Adobe Expressは、2つの異なる方法で企業内のクリエイティブなコラボレーションをスピードアップします。1つ目は、クリエイティブチームが関与しなくても非デザイナーがニーズに合わせてコンテンツの翻案やローカライズ版を作成

Adobe Expressチーム制作ワークフローのベンチマーク

3つの個別ベンチマークの平均。単位：秒

短いほど良い。



ワークフローシーケンス：既存の販促物をローカル要件に合わせて翻案（ステークホルダー1人）

主なポイント

- 企業におけるクリエイティブコラボレーションは複雑であり、**不必要なボトルネックを生み出して**生産性を低下させる可能性があります。
- **Adobe Expressは**、非デザイナーがクリエイティブな作業を引き継ぐために必要なフレームワークを提供することで、**クリエイティブなコラボレーションを大幅にスピードアップ**します。
- **Adobe Expressを使用したコラボレーションによる生産性向上の可能性は**、チームの大規模化による相互伝達の増加に伴って著しく**スケールアップ**します。

このベンチマークでは、単一の非常に単純なワークフローシーケンスの時間を測定しました。ファイルやリクエストの生成と交換に費やされた時間のみが測定され、実際にドキュメントで作業した時間は含みません。

Adobe Expressによる生産性向上はステークホルダーの数に比例する

オペレーション	チーム人数	相互伝達の回数（節約できた時間の総計）			
		1	5	10	20
クリエイティブ チーム ワークフロー シーケンス (前のページの表を 参照)	1	4分47秒	23分53秒	47分46秒	1時間35分
	5	23分53秒	1時間59分	3時間58分	7時間57分
	10	47分46秒	3時間58分	7時間57分	15時間55分
	20	1時間35分	7時間57分	15時間55分	31時間50分

コラボレーションの生産性向上は直線的にスケールするという事実に注目すべきです。個々のシーケンスの生産性向上（この例では5分弱の時間短縮）は無視できるように思えても、この表が示すように、累積的な時間短縮は非常に重要な意味を持ちます。

できるプラットフォームの提供です。これにより、前述のやりとりが不要な、非常にシンプルなワークフローが成立するため、大幅な時間短縮が可能です。しかし、より重要なのは、チームが大規模になり相互伝達の発生回数が増加するにつれて時間短縮の可能性がさらに大きくスケールアップするということです。（上表を参照）

2つ目は、リアルタイムのコラボレーションで、クリエイティブチーム内のメンバー同士でも、デザイナーと非デザイナーの間でも、チームの作業を大幅にスピードアップします。最後に、このレポートの冒頭にもあるように、Adobe Expressは、さまざまなプラットフォームへのコンテンツの翻案や書き出しといった頻繁に行われる作業の迅速化によって、クリエイティブチームの生産性を大幅に向上させることができます。今回実施した20種類のワークフローベンチマークでは、プロフェッショナルアプリケーションのみを使用する場合と比較して、Adobe Expressは平均で6倍以上高速という結果が出ています。

チームのコラボレーションの複雑さ

	Adobe Expressを使わない場合	Adobe Expressを使う場合
ワークフロー	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどのプロ向けアプリケーションは、経験豊富なユーザーが1人で使うことを想定して作られています。プロジェクトで共同作業する際には、ファイルの共有やコメント依頼など、生産性を低下させるようなタスクが発生します。 	<ul style="list-style-type: none"> Adobe Expressは、効率的なコラボレーションのために考案されました。 クリエイティブチームが非デザイナーを招待して、同じプロジェクトでリアルタイムに同時作業を行うことができます。
コメントのやり取り	<ul style="list-style-type: none"> 現在、多くのプロ向けアプリに何らかの形で統合されているコメント機能を使う場合でも、通常は、電子メールやチャットに依存する複数のステップのプロセスやステークホルダー間のコミュニケーションが含まれます。 	<ul style="list-style-type: none"> Adobe Expressはリアルタイムのコメントをサポートするため、電子メールやチャットでのやり取りが不要です。 Adobe Expressはwebベースなので、ユーザー間でデザインファイルをやり取りする必要がありません。
翻案	<ul style="list-style-type: none"> 企業のマーケティングではブランドに沿うことが必須であるため、既存のテンプレートを翻案したデザインを作るのはクリエイティブチームの責任となります。そのため、クリエイティブチームと翻案の依頼者との間で何度もやり取りが行われることとなります。 	<ul style="list-style-type: none"> Adobe Expressは、テンプレートロック、スタイルガイド、ブランディングガイドをサポートしています。 非デザイナーでも、ブランドイメージを損なうことなく、既存のテンプレートを使ってデザインを翻案できます。
生産性	<ul style="list-style-type: none"> 翻案プロセスの複雑さは全体的な生産性を著しく低下させます。多くの場合、これは修正依頼の内容の複雑さではなく、コミュニケーションプロセスの効率性が欠如しているからです。（前ページのグラフを参照） 	<ul style="list-style-type: none"> Adobe Expressは、デザイナーだけでなく、クリエイターの生産性も大幅に向上させます。 Adobe Expressを使ったコラボレーションは、デザイン翻案プロセスにおける多くの生産性のボトルネックを解消します。

企業間のコラボレーションともなれば、最善の状況であってもこれは複雑な課題です。クリエイティブ面に着目すれば、事態はさらに複雑化します。なぜなら、双方のブランドガイドラインを尊重しながら、企業イメー

ジを損なわずに、各地域のユーザーのためにコンテンツを適合させる必要があるからです。

調査方法

このベンチマーク調査はアドビの委託を受け、Pfeiffer Consultingが独自に実施しました。

この資料に記載されている生産性の指標はすべて、実際のワークフロー例に基づいており、関係するアプリケーションやワークフローについて長年の経験を持つ専門家によって設計、実行されています。

生産性の測定方法

基本的なアプローチは単純です。アプリケーションやソリューションがもたらす（あるいはもたらさない）生産性の向上を評価するためにはまず、比較対象のアプリケーションやワークフローのそれぞれにおいて、所与の結果を達成するのに必要な最小限のステップ数を分析します。

このアクションのリストが明確に確立されると、私たちは、この分野とテスト対象のソリューションに長年の経験を持つ熟練した専門家の助けを借りて、各ソリューションで操作またはワークフローを実行します。

すべてのステップを3回実行し、その平均値を使用します。

Pfeiffer Consultingについて

Pfeiffer Consultingは、出版、デジタルコンテンツ制作、ニューメディアのプロフェッショナルのニーズに焦点を当てた、独立系のテクノロジーリサーチおよびベンチマーク業務を行っています。

詳細については、以下までお問い合わせください。

research@pfeifferreport.com

すべてのテキストとイラスト：© Pfeiffer Consulting 2023

画像：Clément Fuzier。

書面による事前の許可なく複製することを禁じます。

詳細は research@pfeifferreport.com まで。

このレポートに掲載されているデータは、評価および一般的なシミュレーションであり、情報提供のみを目的としています。これらの情報は、既存の企業やワークフローの状況について、具体的な生産性の調査や計算を行うことを意図したのではなく、またそれに代わるものでもありません。Pfeiffer Consultingは、本レポートに含まれるいかなる情報、アドバイス、または推奨に基づき実施された行動の使用または方針について一切の責任を負わず、本レポートまたは関連文書で提供されたデータに基づく購入、設備、投資、またはその他の決定や引き受けについて責任を負いません。

Adobe、Adobeロゴ、Creative Cloud、Firefly、Illustrator、PhotoshopおよびPremiereは、米国およびその他の国におけるアドビの登録商標または商標です。その他すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。